

決算補足説明資料

FY25 1Q

2025年5月9日

ノーリツ鋼機株式会社
証券コード：7744（東証プライム市場）

NORITSU

Contents

1. FY25 1Q連結業績
2. FY25 通期連結業績予想
3. トピック

将来見通しに係る記述についての注意事項

本資料に記載されている当社の現在の計画、戦略等のうち、歴史的事実でないものは、現時点において見積もられた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。実際の業績は、様々な要因やリスクにより大きく異なる結果となる可能性があり、いかなる確約や保証を行うものではありません。

事業EBITDAについて

事業EBITDAは、営業利益から、その他の収益・費用を加減し、減価償却費及び償却費（使用権資産の減価償却費を除く）を加えて算出しております。連結財務諸表上に定義されていない指標であるものの、非経常的な損益や償却費に左右されない企業の本来の収益力を示すことから、連結財務諸表の利用者がノーリツ鋼機の業績を評価する上でも有用な情報であると判断し、追加的に開示しております。

本説明資料における表示方法

数値：表示単位未満を切り捨て

比率：円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入

当期利益：親会社の所有者に帰属する四半期/当期利益

FY〇〇：20〇〇年12月期

FY25 1Q連結業績

- 売上収益は、FY24 1Qに一過性要因による増収があり、対前年同期で減収を見込んでいたが、JLabの販売好調や為替影響等により増収で着地
- 事業EBITDAは順調に進捗したものの、営業利益及び当期利益は、外貨資産の為替評価において想定以上の評価損が発生（FY24 1Q +10億円 / FY25 1Q △11億円）
- 個社別では、対前年同期で、テイボーは横ばい、AlphaThetaは減収（需要減ではなく前年同期に一過性の増収があったため）、JLabは増収

FY25 通期連結業績予想

- 事業は計画どおりに進展しているものの、米国の関税政策等を加味し、期初予想を修正。想定為替レートと10%追加関税に伴う影響のみを反映。需要動向の変化については、不確実性が高いため、現時点では修正予想には織り込まず
- 当期利益を下方修正するが、DOE目標を設定しているため現時点では配当予想は据え置き

Contents

1. **FY25 1Q連結業績**
2. **FY25 通期連結業績予想**
3. **トピック**

- 売上収益は、FY24 1Qに一過性要因による増収があり、対前年同期で減収を見込んでいたが、JLabの販売好調や為替影響等により増収で着地
- 事業EBITDAは順調に進捗したものの、営業利益及び当期利益は、外貨資産の為替評価において想定以上の評価損が発生（FY24 1Q +10億円 / FY25 1Q △11億円）

単位：百万円		FY24 1Q	FY25 1Q	増減額	増減率
売上収益		26,922	27,200	+278	+1.0%
事業EBITDA		7,805	6,656	△1,148	△14.7%
事業EBITDAマージン		29.0%	24.5%	△4.5pt	-
営業利益		7,627	4,315	△3,311	△43.4%
当期利益		5,235	2,814	△2,421	△46.3%
為替レート (平均)	米ドル (円)	148.6	152.6	+4.0	-
	ユーロ (円)	161.3	160.5	△0.8	-
為替レート (期末)	米ドル (円)	151.4	149.5	△1.9	-
	ユーロ (円)	163.2	162.1	△1.1	-

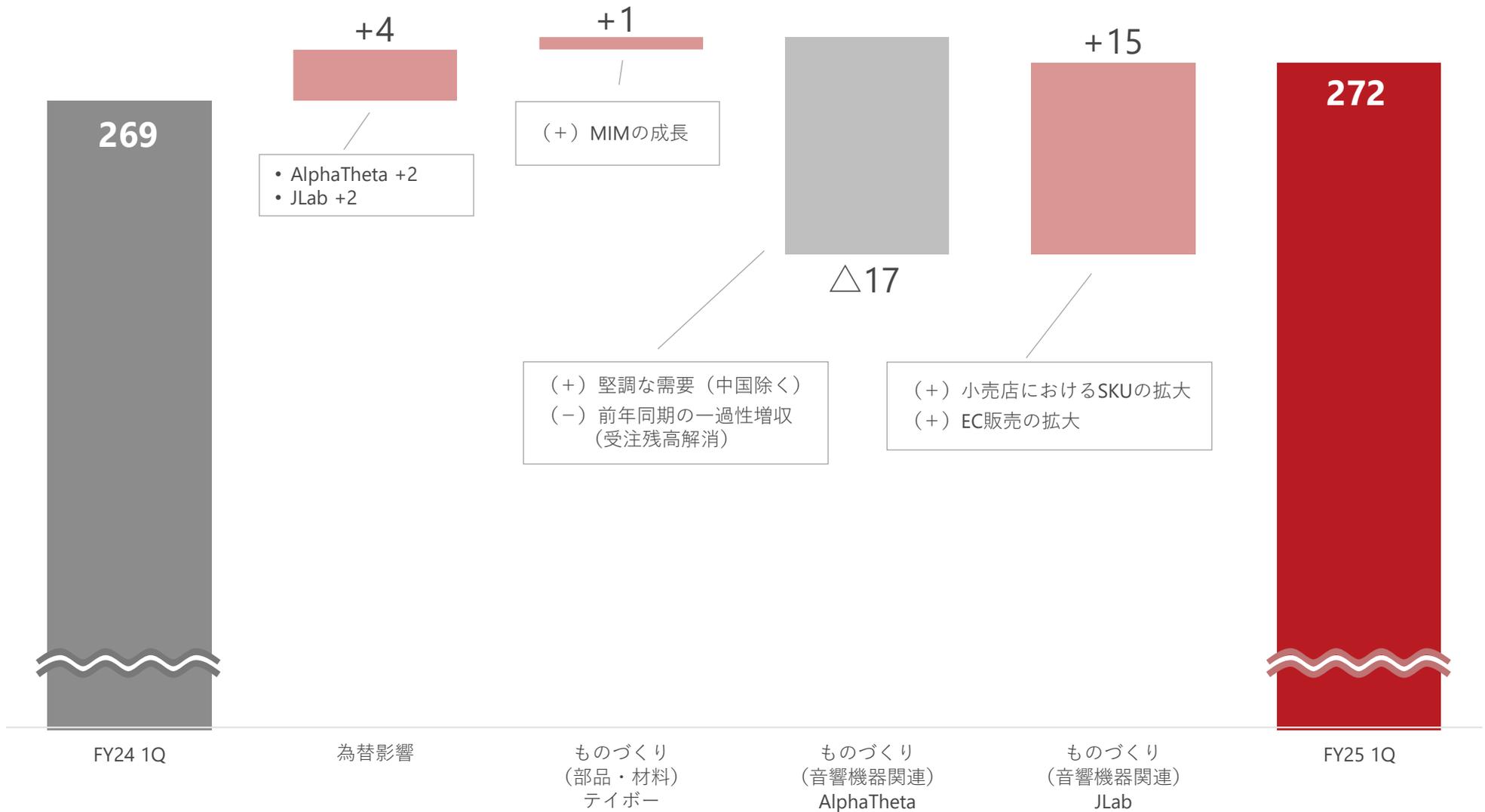
(参考) 上半期予想に対する進捗率

2月14日公表の上半期予想に対して、いずれの項目も順調に進捗

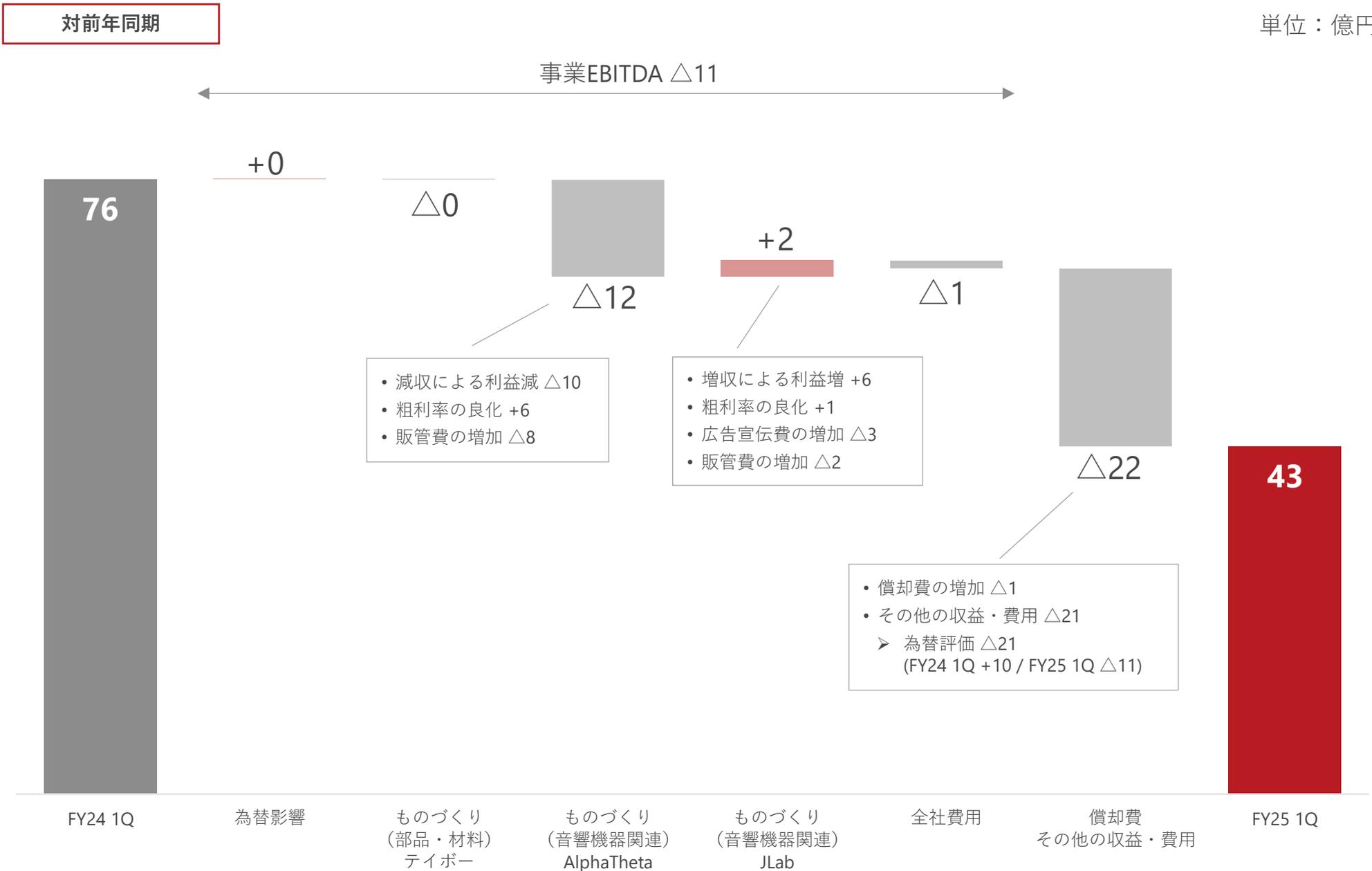
単位：百万円	FY25 上半期予想	FY25 1Q	進捗率	
売上収益	52,500	27,200	51.8%	
事業EBITDA	11,100	6,656	60.0%	
事業EBITDAマージン	21.1%	24.5%	-	
営業利益	8,000	4,315	53.9%	
当期利益	5,400	2,814	52.1%	
為替レート (平均)	米ドル (円)	150.0	152.6	-
	ユーロ (円)	156.0	160.5	-
為替レート (期末)	米ドル (円)	150.0	149.5	-
	ユーロ (円)	156.0	162.1	-

対前年同期

単位：億円

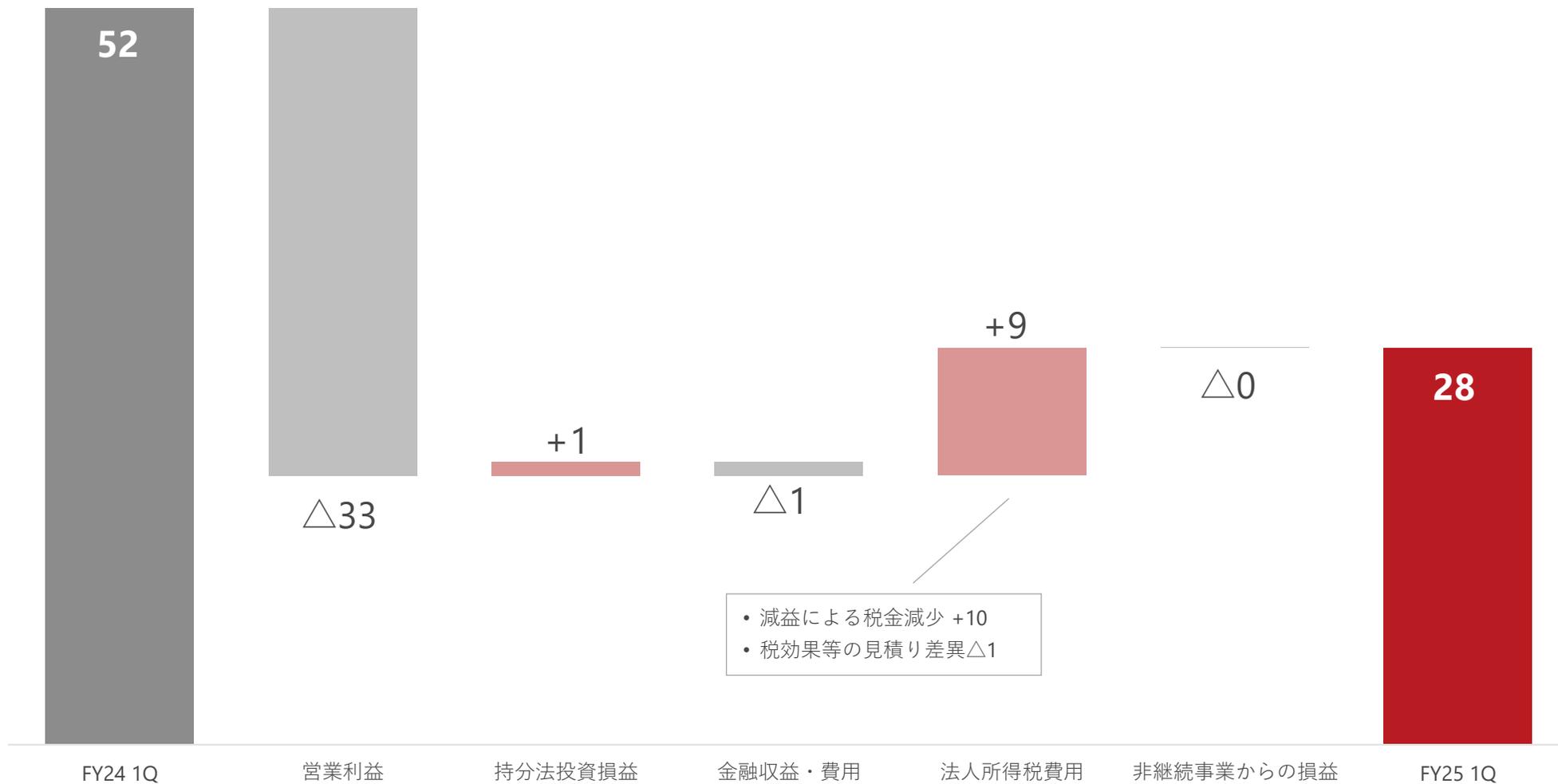


単位：億円



対前年同期

単位：億円



財務健全性は問題なし

バランスシート

単位：百万円	FY24	FY25 1Q	増減額
現金及び現金同等物	92,856	89,465	① △3,391
売上債権及びその他の債権	16,047	13,060	△2,986
棚卸資産	22,922	23,709	+786
のれん	50,451	49,818	△632
無形資産	76,606	74,553	△2,052
その他資産	40,483	35,125	② △5,357
資産合計	299,368	285,734	△13,634
仕入債務及びその他の債務	10,252	8,279	△1,973
借入金	33,823	33,849	+26
その他負債	32,331	30,388	③ △1,943
負債合計	76,408	72,517	△3,890
資本合計	222,960	213,216	△9,743

財務健全性

有利子負債	33,823	33,849	+26
現金性資産	111,102	101,096	△10,006
Net Debt	△77,279	△67,246	+10,032

主な増減要因

- ① 現金及び現金同等物 △33億円
 - ・ 営業CF +18億円
 - 事業EBITDA +67億円
 - 営業活動に係る資産・負債の増減 △15億円
 - 法人所得税費用の支払額及び還付額 △35億円
 - ・ 投資CF +14億円
 - 政策保有株式の売却 +14億円
 - ・ 財務CF △52億円
 - 自己株式の取得 △6億円
 - 配当金の支払い △44億円
- ② その他資産 △53億円
 - ・ その他の金融資産 △70億円
- ③ その他負債 △19億円
 - ・ 未払法人所得税 △20億円

AlphaThetaは、前年同期の一過性の増収を除くと、需要環境は変わらず堅調に推移

単位：百万円		FY24 1Q	FY25 1Q	増減額	増減率	増減率 (為替影響除く)
ものづくり (部品・材料) テイボー	売上収益	2,713	2,831	+117	+4.3%	+4.0%
	事業EBITDA	596	561	△34	△5.9%	△7.9%
ものづくり (音響機器関連)	売上収益	24,208	24,369	+160	+0.7%	△0.9%
	事業EBITDA	7,436	6,408	△1,028	△13.8%	△14.0%
AlphaTheta	売上収益	18,934	17,382	△1,551	△8.2%	△9.3%
	事業EBITDA	6,707	5,509	△1,198	△17.9%	△17.7%
JLab	売上収益	5,274	6,986	+1,712	+32.5%	+29.0%
	事業EBITDA	728	899	+170	+23.4%	+20.1%
全社費用	事業EBITDA	△228	△313	△85	-	-
連結合計	売上収益	26,922	27,200	+278	+1.0%	△0.4%
	事業EBITDA	7,805	6,656	△1,148	△14.7%	△14.9%

Contents

1. FY25 1Q連結業績
2. **FY25 通期連結業績予想**
3. トピック

■ 米国関税政策の影響

- 現状は価格転嫁を基本方針として対応。タイミングのズレが一部発生するが、機動的に対応策を講じ、マイナス影響額の最小化に努める
- 米国の関税政策の影響を踏まえ、業績予想を修正

<今回の業績予想修正における前提>

- 2025年4月から12月末まで追加関税10%（中国は145%）
- 需要動向及び収益構造の変化は不確実性が高いため織り込まず

	サプライチェーンの状況	対応策
テイボー	<ul style="list-style-type: none"> • ペン先及びMIMともに、米国向けは主に国内の自社工場で製造 • 米国で輸入する製品がないため直接的な影響はなし • 米国メーカーへの販売価格に影響 	<ul style="list-style-type: none"> • 米国メーカーとの価格交渉 • 今後に備え、製造コスト及び販管費の見直し
AlphaTheta	<ul style="list-style-type: none"> • 主にマレーシアで製造（委託） • 米国販売子会社の輸入分に影響あり 	<ul style="list-style-type: none"> • 販売価格への転嫁 • 需要に対応した販売製品 / 地域の最適化 • 今後に備え、製造コスト及び販管費の見直し
JLab	<ul style="list-style-type: none"> • 主にベトナムで製造（委託）、一部製品は中国でも製造（委託） • 米国本社の輸入分に影響あり 	<ul style="list-style-type: none"> • 関税発動前に米国に製品を緊急的に発送 • 米国向け製品はすべてベトナム製造に切り替え • 販売価格への転嫁 • 今後に備え、製造コスト及び販管費の見直し

FY25 通期業績予想の変更内容について（連結）

- ①想定為替レート ②関税コスト ③販売価格への転嫁を反映し、期初予想を修正
- 需要動向の変化については、現時点では不確実性が高いため予想には織り込まないが、仮にマイナス影響が発生した場合の参考数値を算出（算出の前提については、次頁を参照）

単位：百万円		①為替レート	②関税コスト	③販売価格	影響額合計	販売数量 増減 (参考)
売上収益		△4,300	△100	2,500	△1,900	△4,500
事業EBITDA		△400	△2,900	2,500	△800	△1,900
事業EBITDAマージン						
営業利益		△1,000	△2,900	2,500	△1,400	△1,900
当期利益		△700	△2,100	1,800	△1,000	△1,300
為替レート (平均)	米ドル (円)	△10.0			△10.0	
	ユーロ (円)	-			-	
為替レート (期末)	米ドル (円)	△10.0			△10.0	
	ユーロ (円)	-			-	

FY25 通期業績予想の変更内容について（セグメント別）

単位：百万円		①為替レート	②関税コスト	③販売価格	影響額合計	販売数量 増減 (参考)	内訳
ものづくり (部品・材料) テイボー	売上収益	-	△100	100	-	△400	<ul style="list-style-type: none"> ペン先（筆記）：5%減 ペン先（コスメ）：20%減 MIM：影響軽微
	事業EBITDA	-	△100	100	-	△200	
ものづくり (音響機器関連)	売上収益	△4,300	-	2,400	△1,900	△4,100	
	事業EBITDA	△400	△2,800	2,400	△800	△1,700	
AlphaTheta	売上収益	△2,000	-	1,600	△400	△2,400	<ul style="list-style-type: none"> プロ向け：20%減 上記以外：10%減
	事業EBITDA	△100	△1,700	1,600	△200	△1,000	
JLab	売上収益	△2,300	-	800	△1,500	△1,700	<ul style="list-style-type: none"> 10%減
	事業EBITDA	△300	△1,100	800	△600	△700	
全社費用	事業EBITDA	-	-	-	-	-	
連結合計	売上収益	△4,300	△100	2,500	△1,900	△4,500	
	事業EBITDA	△400	△2,900	2,500	△800	△1,900	

単位：百万円	FY25 期初予想	FY25 5/9付修正予想	対期初予想	FY24	対前期	
売上収益	112,600	110,700	△1,900	106,539	+ 3.9%	
事業EBITDA	23,300	22,500	△800	24,283	△7.3%	
事業EBITDAマージン	20.7%	20.3%	△0.4pt	22.8%	△2.5pt	
営業利益	17,400	16,000	△1,400	20,507	△22.0%	
当期利益	11,700	10,700	△1,000	16,120	△33.6%	
為替レート (平均)	米ドル (円)	150.0	140.0	△10.0	151.6	△11.6
	ユーロ (円)	156.0	156.0	-	164.0	△8.0
為替レート (期末)	米ドル (円)	150.0	140.0	△10.0	158.2	△18.2
	ユーロ (円)	156.0	156.0	-	164.9	△8.9

単位：百万円		FY25 期初予想	FY25 5/9付修正予想	対期初予想	FY24	対前期	対前期 為替影響除く
ものづくり (部品・材料) テイボー	売上収益	12,400	12,400	-	11,975	+3.5%	+3.9%
	事業EBITDA	3,300	3,300	-	3,270	+0.9%	+0.8%
ものづくり (音響機器関連)	売上収益	100,200	98,300	△1,900	94,564	+4.0%	+10.9%
	事業EBITDA	21,300	20,500	△800	22,024	△6.9%	+0.9%
AlphaTheta	売上収益	65,100	64,700	△400	62,588	+3.4%	+9.4%
	事業EBITDA	16,700	16,500	△200	17,630	△6.4%	+1.4%
JLab	売上収益	35,100	33,600	△1,500	31,975	+5.1%	+13.8%
	事業EBITDA	4,600	4,000	△600	4,394	△9.0%	△1.4%
全社費用	事業EBITDA	△1,300	△1,300	-	△1,010	-	-
連結合計	売上収益	112,600	110,700	△1,900	106,539	+3.9%	+10.1%
	事業EBITDA	23,300	22,500	△800	24,283	△7.3%	△0.3%

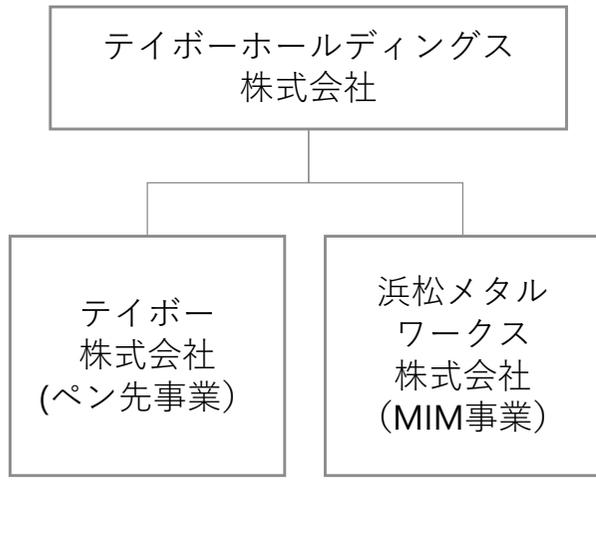
Contents

1. FY25 1Q連結業績
2. FY25 通期連結業績予想
3. トピック

テイボーのホールディングス体制がスタート（2025年4月）。音響機器関連のAlphaThetaはAppleMusicの対応を開始。また、JLabは毎年行われるCESにおいて、今年も複数カテゴリで注目の新製品を発表

■ テイボー

4月1日よりテイボーホールディングス株式会社設立。
MIM事業を「浜松メタルワークス（株）」に分社化し、グループ体制をスタート



■ AlphaTheta

DJソフトウェア「rekordbox」とオールインワンDJシステム「OMNIS-DUO」「XDJ-AZ」がApple Musicに対応。
1億曲以上の楽曲、厳選された数々のプレイリストを様々なDJ機器でDJプレイが可能に



■ JLab

CES2025に出展。EPIC LUX EDITION（ヘッドホン）や、レトロなスケルトンカラーのGO POP ANC（日本でも発売中）、キーボードなどPC周辺機器を新たに紹介



Appendix

為替の各事業への影響について

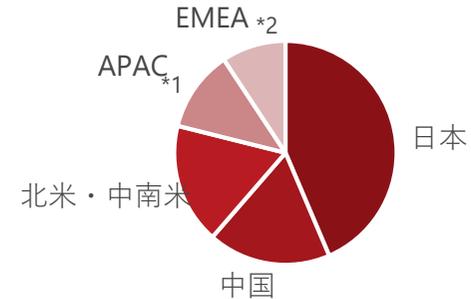
- 米ドル及びユーロ取引が多いAlphaTheta及びJLabで影響あり
- 円安はグループ全体では営業利益プラスの影響

概要

FY24 地域別売上収益構成比

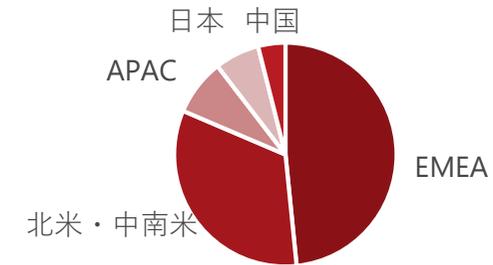
テイボー

- グローバルで販売及び仕入ともに円貨取引が基本のため**対米ドル、対ユーロともに影響は僅少**



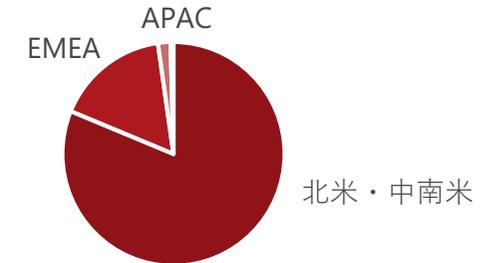
AlphaTheta

- 販売は各地域通貨を基本とし、仕入は米ドル
- EMEAの売上収益が大きいため、**対ユーロで円安は利益プラス**
- 北米を中心とする米ドルでの売上収益が仕入をやや上回るため、**対米ドルで円安は利益プラス**



JLab

- 販売は各地域通貨を基本とし、仕入は米ドル
- 米国の売上収益が大きいため、**対米ドルで円安は利益プラス**
- 米国以外は売上収益がまだ小さいため影響は軽微



*1 APACは、アジア、オーストラリア（日本、中国を除く）

*2 EMEAは、ヨーロッパ、中東、アフリカ

為替の通期連結業績への影響は以下のとおり

※2025年5月9日更新

為替レート（平均）の1円円安による影響額

通貨	FY25予想 為替前提	売上収益	事業EBITDA	営業利益
米ドル	140.0円	+4.4億円	+0.4億円	+0.4億円
ユーロ	156.0円	+1.9億円	+1.6億円	+1.6億円

為替レート（期末）の1円円安による影響額

通貨	FY25予想 為替前提	売上収益	事業EBITDA	営業利益
米ドル	140.0円	-	-	+0.6億円
ユーロ	156.0円	-	-	+1.0億円

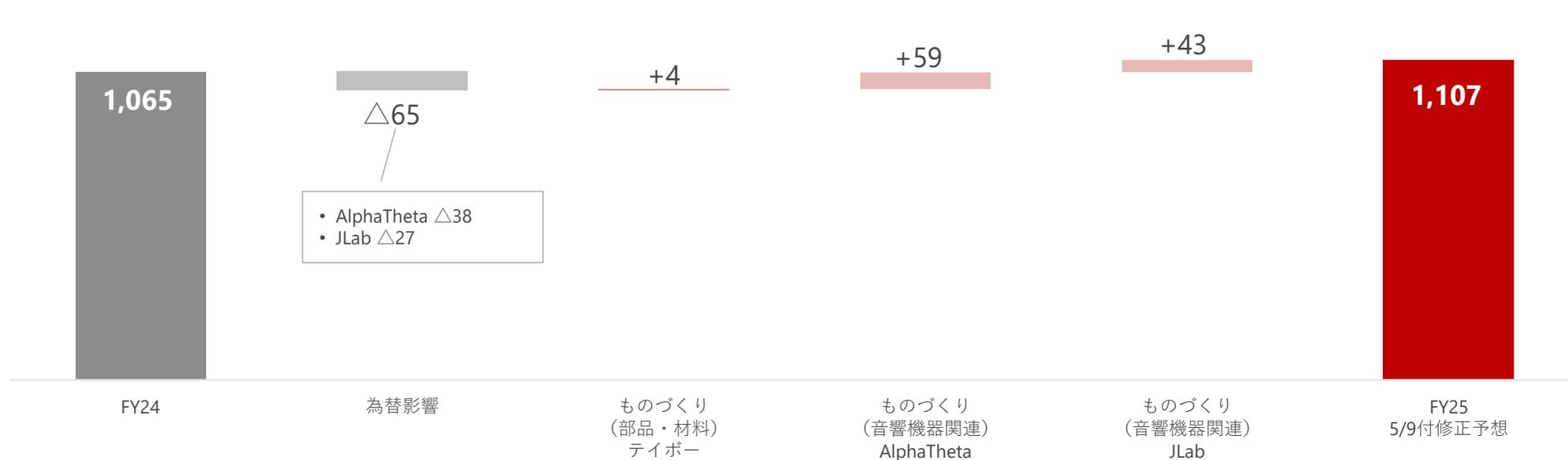
売上収益増減分析

単位：億円

対期初予想

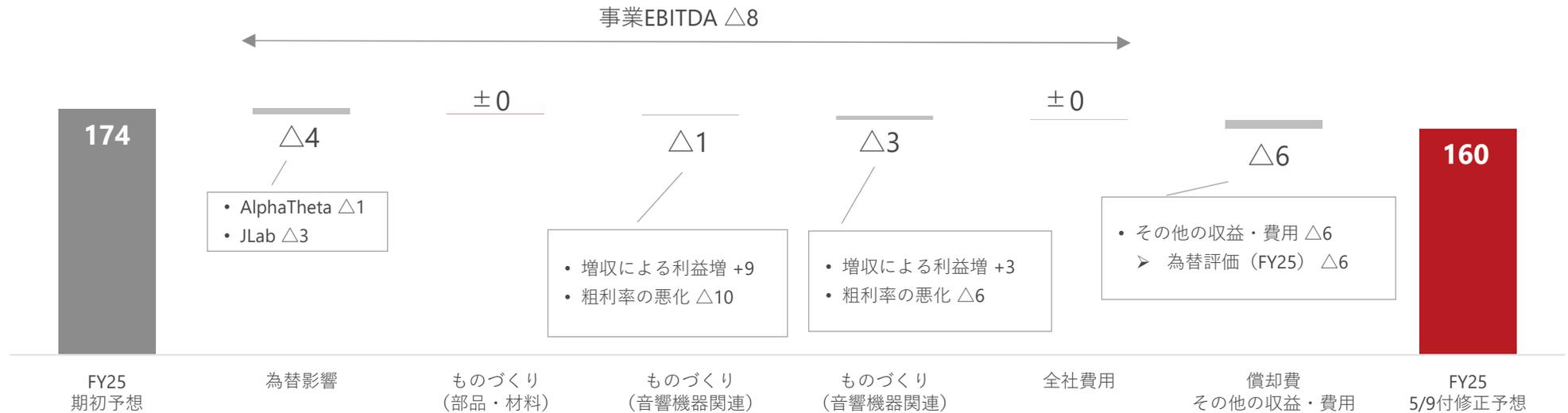


対前期

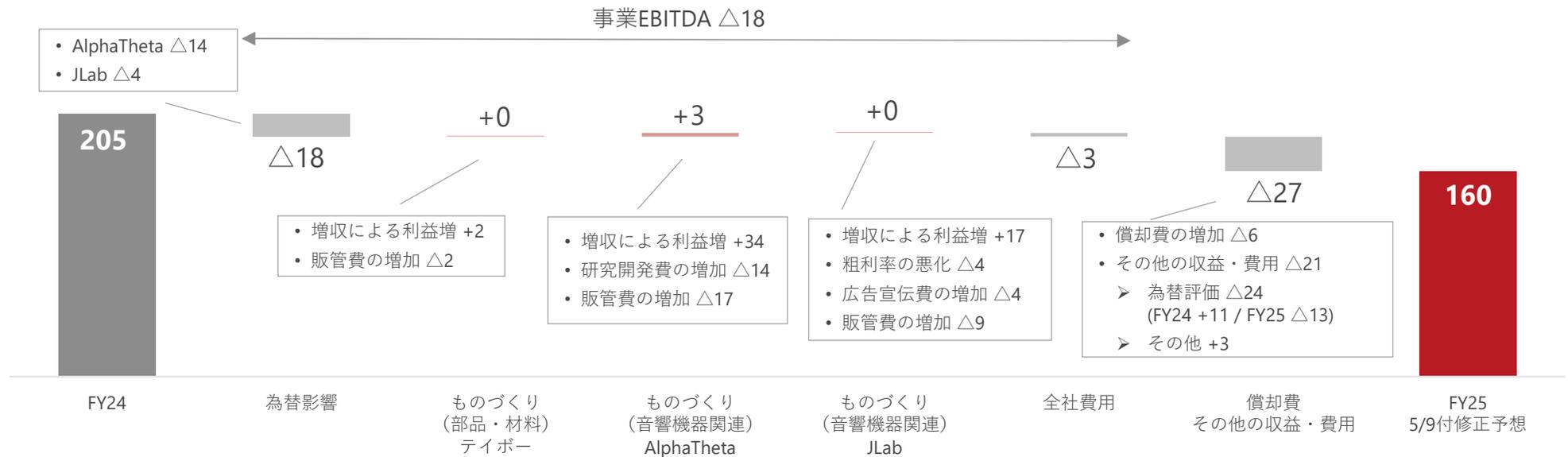


単位：億円

対期初予想



対前期



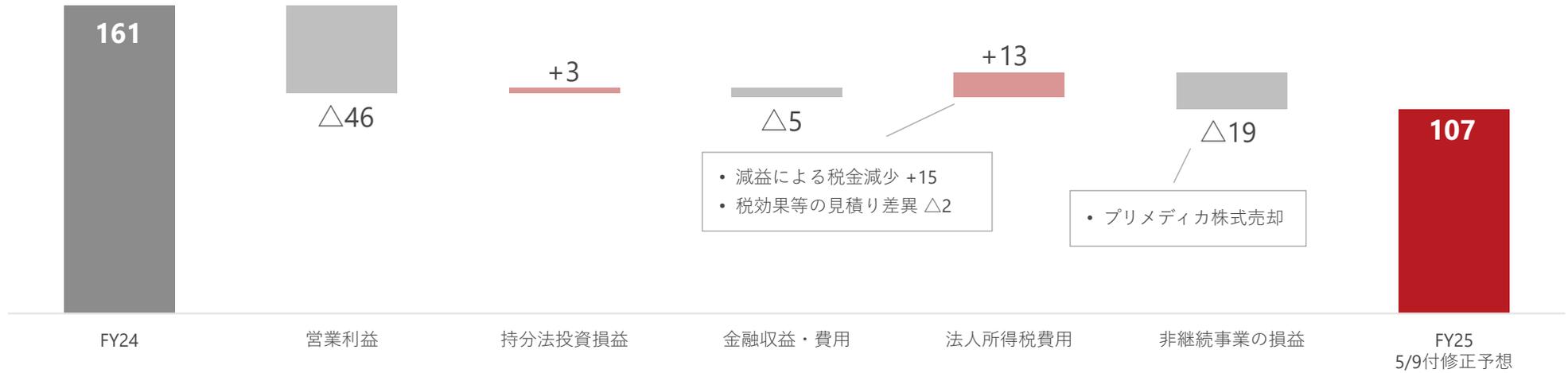
当期利益増減分析

単位：億円

対期初予想



対前期

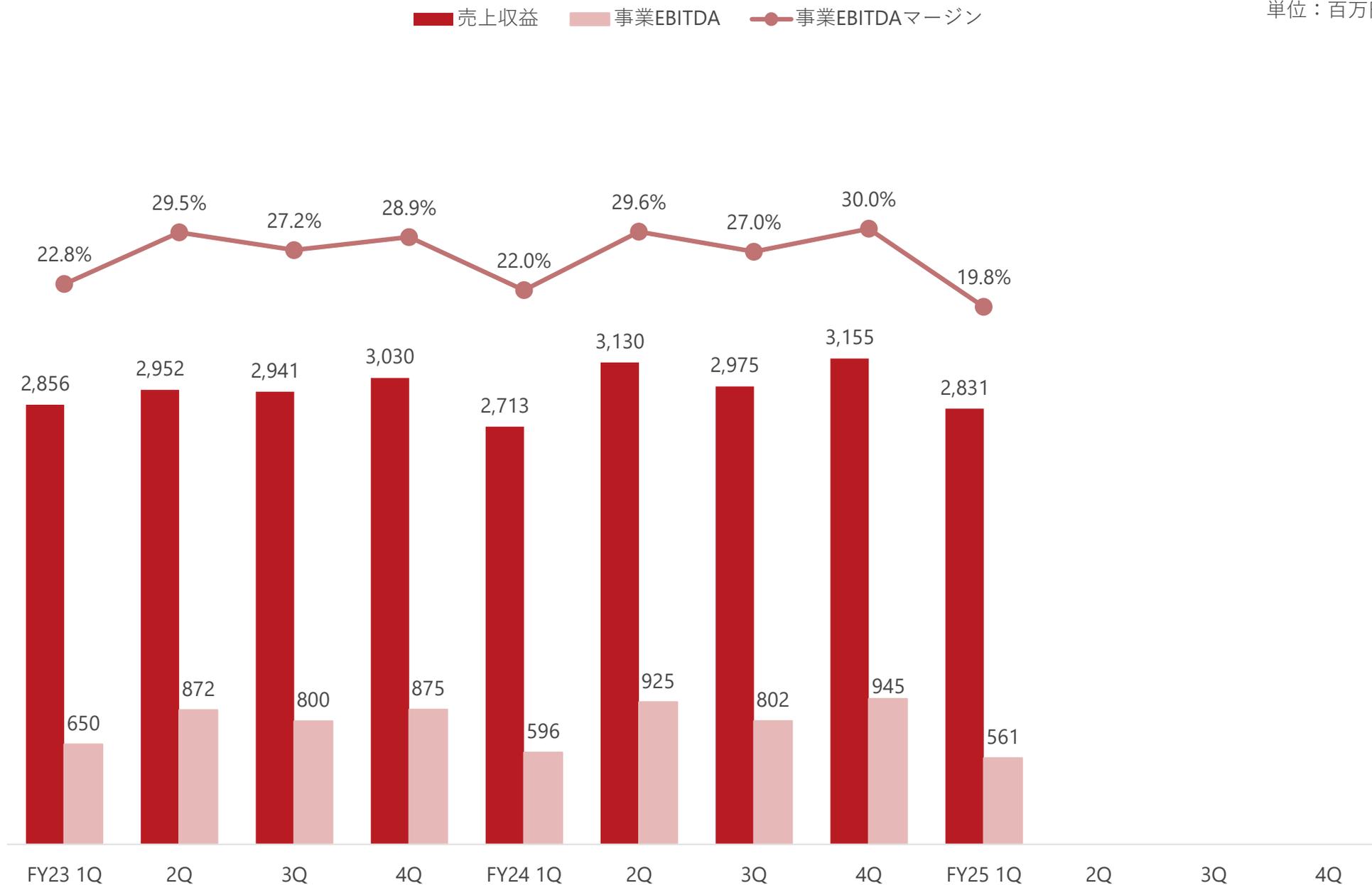


単位：百万円		FY25 上半期 期初予想	FY25 上半期 5/9付修正予想	対期初予想	FY24 上半期	対前年同期
売上収益		52,500	51,300	△1,200	52,763	△2.8%
事業EBITDA		11,100	11,700	+600	14,040	△16.7%
事業EBITDAマージン		21.1%	22.8%	+1.7pt	26.6%	△3.8pt
営業利益		8,000	8,000	-	13,879	△42.4%
当期利益		5,400	5,400	-	11,484	△53.0%
為替レート (平均)	米ドル (円)	150.0	140.0	△10.0	152.3	△12.3
	ユーロ (円)	156.0	156.0	-	164.6	△8.6
為替レート (期末)	米ドル (円)	150.0	140.0	△10.0	161.1	△21.1
	ユーロ (円)	156.0	156.0	-	172.3	△16.3

FY25 上半期セグメント別業績予想

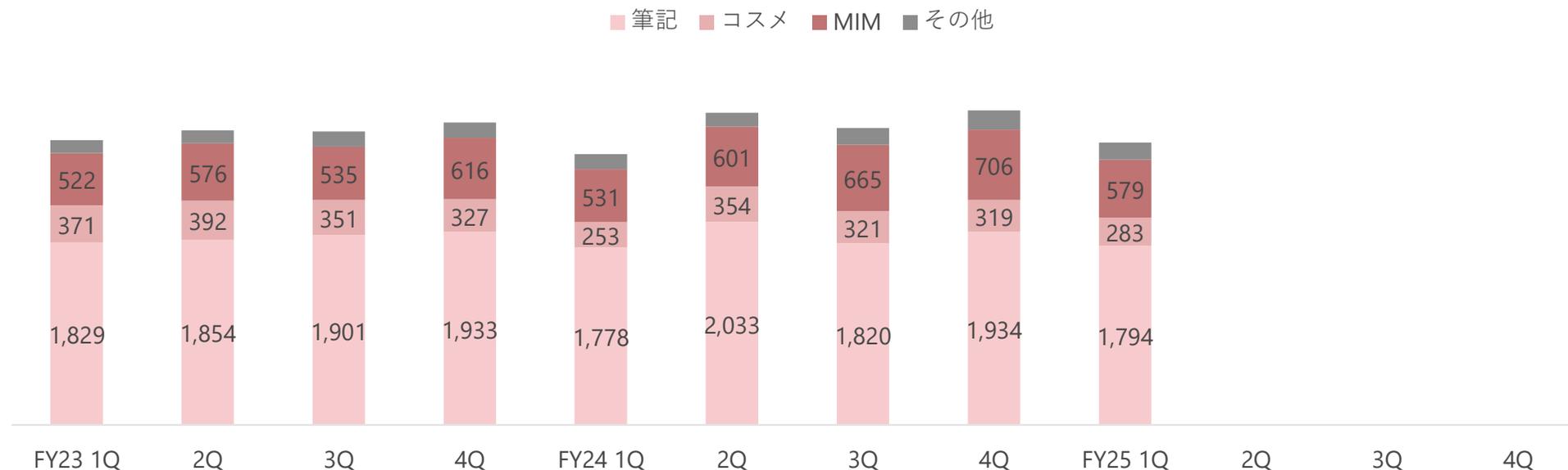
単位：百万円		FY25 上半期 期初予想	FY25 上半期 5/9付修正予想	対期初予想	FY24 上半期	対前年同期	対前年同期 為替影響除く
ものづくり (部品・材料) テイボー	売上収益	5,900	5,900	-	5,843	+1.0%	+1.1%
	事業EBITDA	1,500	1,500	-	1,522	△1.5%	△2.0%
ものづくり (音響機器関連)	売上収益	46,600	45,400	△1,200	46,919	△3.2%	+3.4%
	事業EBITDA	10,200	10,800	+600	12,997	△16.9%	△10.3%
AlphaTheta	売上収益	31,300	31,100	△200	33,260	△6.5%	△0.8%
	事業EBITDA	8,300	8,800	+500	10,694	△17.7%	△11.4%
JLab	売上収益	15,300	14,300	△1,000	13,658	+4.7%	+13.9%
	事業EBITDA	1,900	2,000	+100	2,302	△13.2%	△5.6%
全社費用	事業EBITDA	△600	△600	-	△479	-	-
連結合計	売上収益	52,500	51,300	△1,200	52,763	△2.8%	+3.2%
	事業EBITDA	11,100	11,700	+600	14,040	△16.7%	△10.6%

単位：百万円



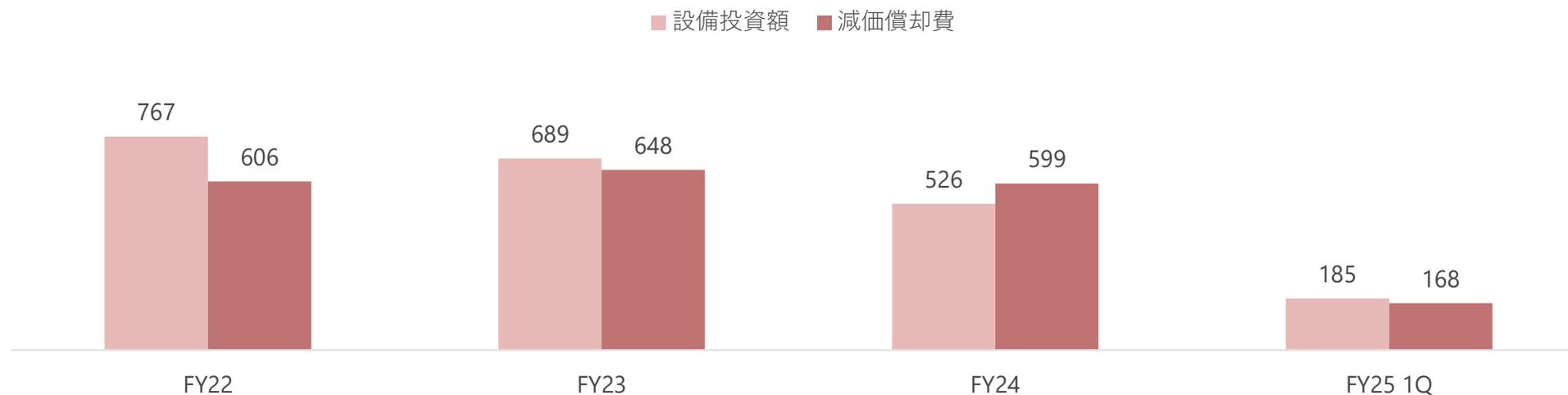
カテゴリ別売上収益推移

単位：百万円



設備投資・減価償却費^{*1}

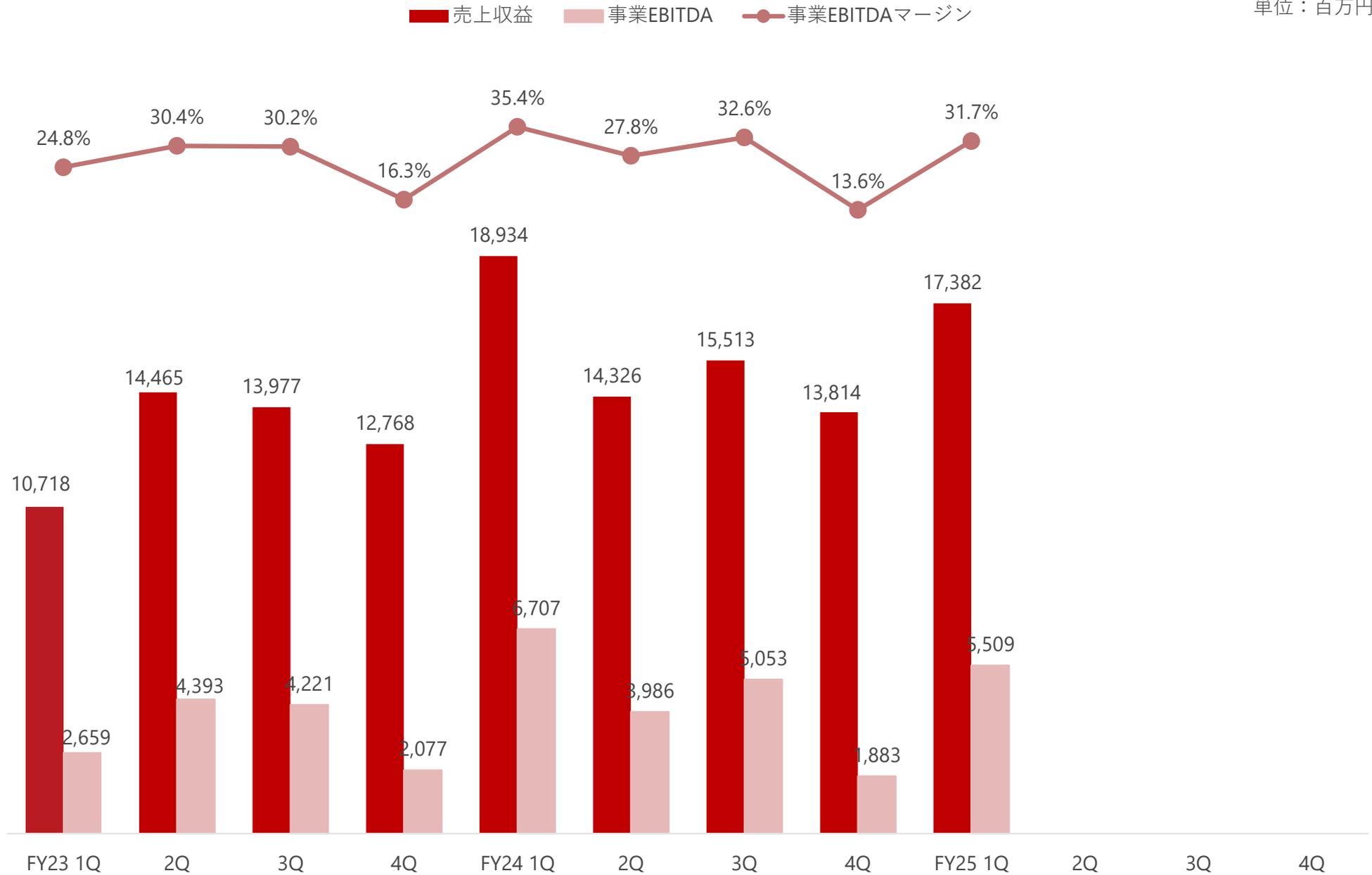
単位：百万円



*1 使用権資産に係る償却費及びPPAの償却費を除く

■ 四半期推移－ものづくり（音響機器関連）/AlphaTheta

単位：百万円

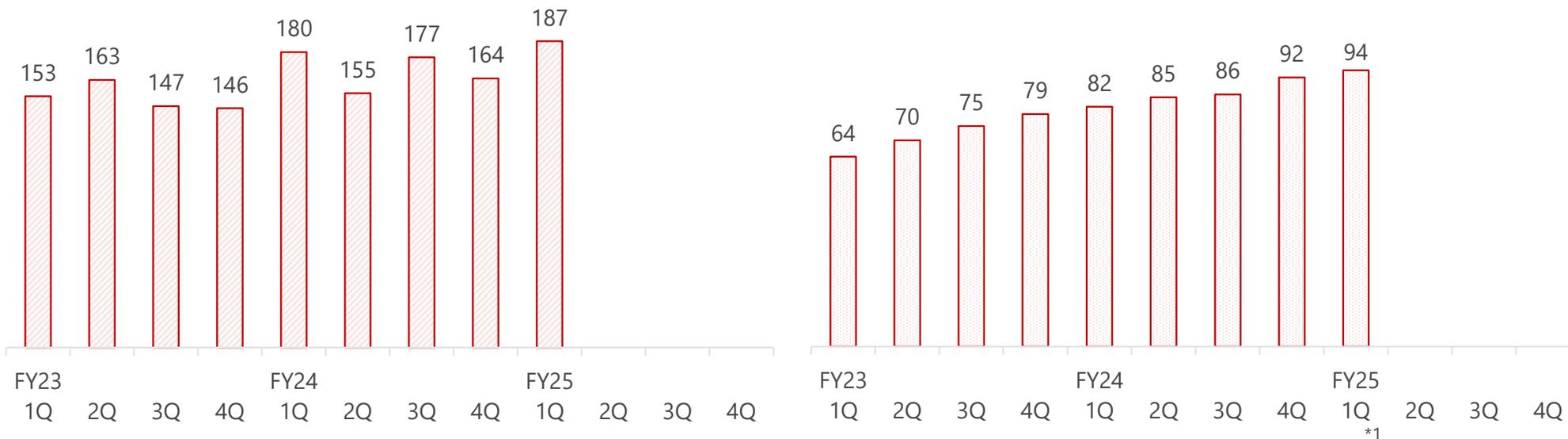


DJ機器出荷台数

単位：千台

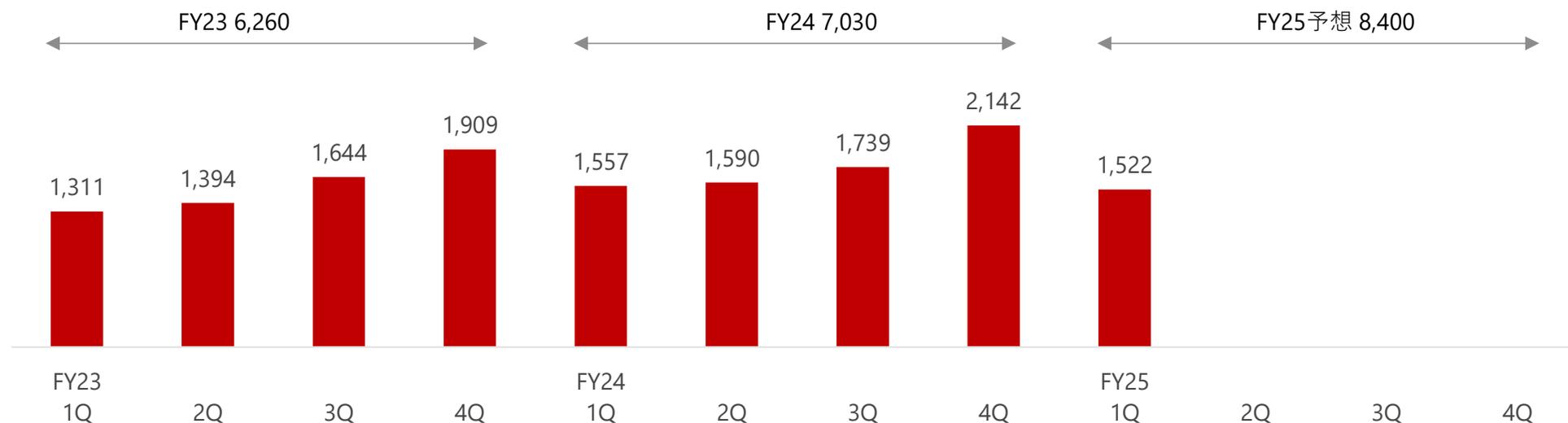
DJ向けアプリケーションMAU

単位：万人



研究開発費

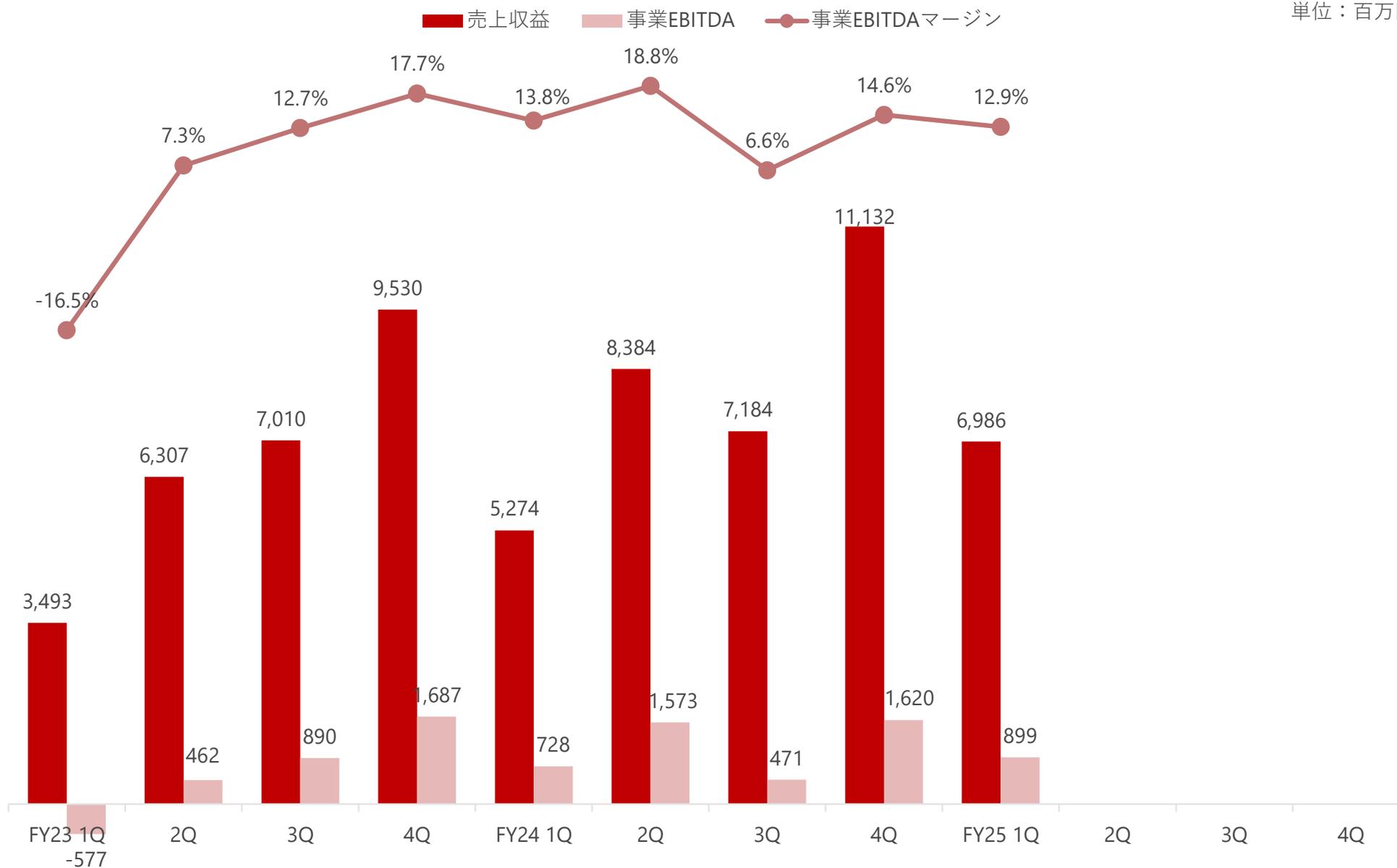
単位：百万円



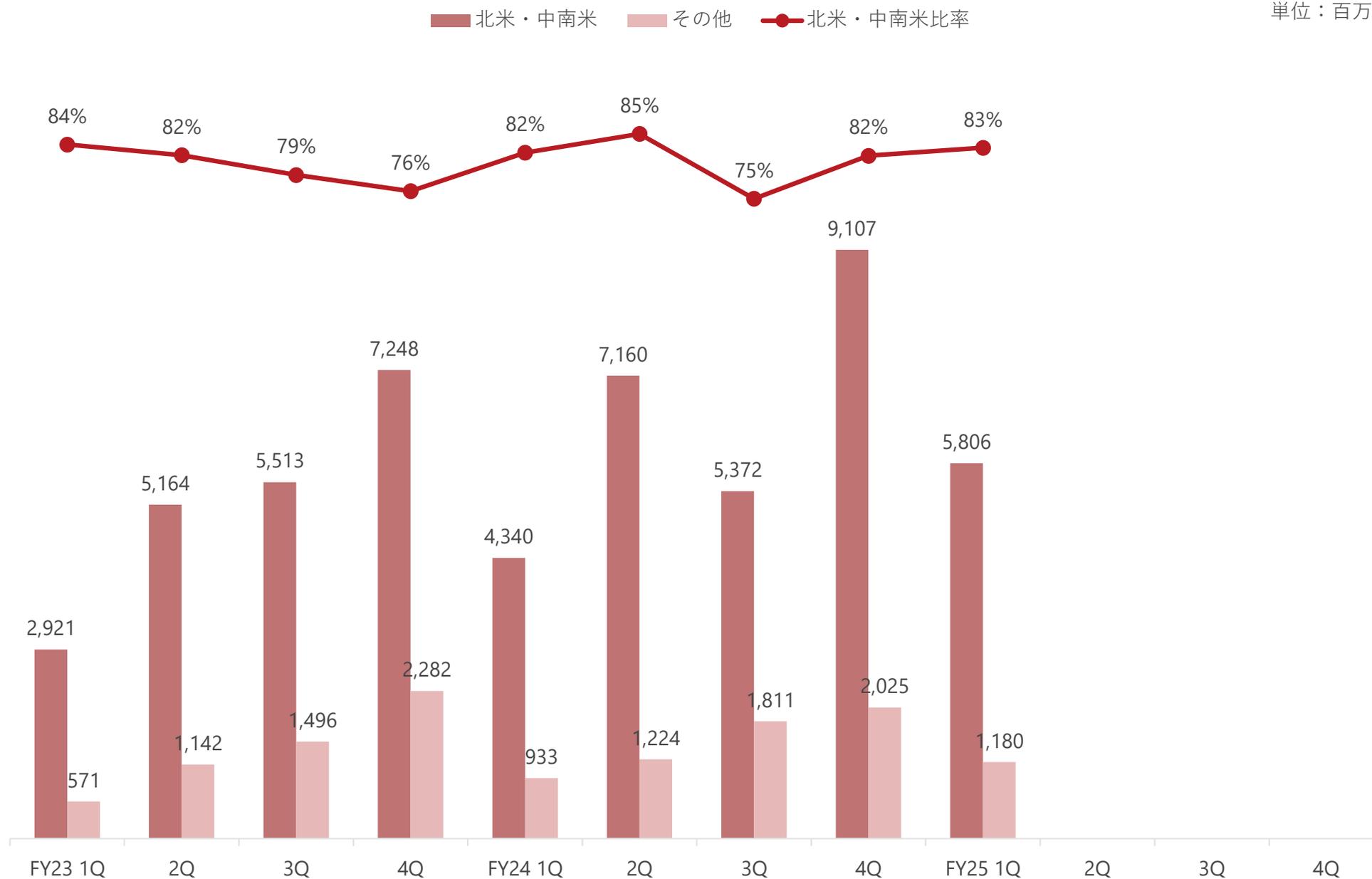
*1 システムエラーによりデータが欠落した2025年2月分を除く

■ 四半期推移－ものづくり（音響機器関連）/JLab

単位：百万円



単位：百万円



社名 ノーリツ鋼機株式会社（プライム市場：7744）

代表者 代表取締役CEO 岩切 隆吉

創業 1951(昭和26)年6月

設立 1956(昭和31)年6月

資本金 7,025,302,000円

本社 東京都港区麻布十番1-10-10 ジュールA 5階

取締役 岩切 隆吉

横張 亮輔

村瀬 和絵

取締役
(監査等委員)

太田 晶久

高田 剛

町野 静

部品・材料

先端及び極小部材の製造事業

テイボー株式会社

会社名 テイボー株式会社
代表者 代表取締役社長 河内清志
資本金 5,000万円
主要株主 テイボーホールディングス株式会社
事業内容 筆記分野ペン先部品（フェルト、合成繊維、プラスチック）、非筆記分野、先端部材、コスメ用ペン先部材（合繊芯、プラスチック芯、ポリブチレンテレフタレート樹脂（PBT）ブラシなど）等の製造・販売

■グループ会社

泰宝制筆材料(常熟)有限公司（テイボー100%子会社）
・マーキングペン先部品の中国における製造・販売拠点

株式会社 soliton corporation（テイボー100%子会社）
・コスメ用ペン先部材の製造・販売

MIM製品の製造事業

浜松メタルワークス株式会社

会社名 浜松メタルワークス株式会社
代表者 代表取締役社長 鈴木浩
資本金 5,000万円
主要株主 テイボーホールディングス株式会社
事業内容 MIM製造部品の製造・販売及び研究開発

*テイボーホールディングス株式会社はノーリツ鋼機の100%子会社です

音響機器関連

音響、音楽制作機器の商品開発事業

AlphaTheta株式会社

会社名 AlphaTheta株式会社
（旧Pioneer DJ株式会社）
代表者 代表取締役社長 片岡芳徳
資本金 1億円
主要株主 ノーリツ鋼機株式会社
事業内容 DJ/CLUB機器、業務用音響機器、音楽制作機器の商品開発・設計・及び販売、ならびにそれらのサービスに関する事業

■販売子会社

AlphaTheta EMEA Limited
AlphaTheta Music Americas, Inc.
AlphaTheta (Shanghai) CO., Ltd.
AlphaTheta SG Pte. Ltd.

音響機器関連

パーソナルオーディオデバイス製品事業

PEAG, LLC dba JLab

会社名 PEAG, LLC dba JLab
代表者 Win Cramer, CEO
資本金 19M USD
主要株主 ノーリツ鋼機株式会社
事業内容 パーソナルオーディオデバイス及びテクノロジー製品の設計及び販売